

洞爺湖  
漁業  
協同組合  
(篠原功  
組合長)  
が実施し  
ているサ  
クラマス  
の放流が、



成長を願って放流する温泉小の児童たち

5月19日とうや小学校と洞爺湖温泉小学校の児童をそれぞれに招き行われました。

湖の豊かな自然にふれてもらおうと毎年実施していて、今年は、各小学校で、4～5％ほどに育った稚魚合わせて2万匹を放流しました。

洞爺湖温泉小学校では、1、2年生16人が参加して同小近くの湖畔で実施。児童らは、プラスチックカップに移し替えた稚魚を、「おおきくなってね」の願い込め放流。3、4年後の成長を楽しみにしていました。

## 「おおきくなってね」 洞爺湖にサクラマス放流

## 三豊の森で植樹祭 コープさっぽろが緑化活動

— 豊地区にある町有林で、5月23日「コープ未来（あした）の森づくり植樹祭」（生活協同組合コープさっぽろ室蘭地区本部主催）が開かれ、約60人のコープ組合員が参加し、環境保全活動に取り組みました。

町とは、今年2月に森林整備についての協定を締結。平成35年までに、町有林1haにトドマツ1,600本、アオダモ400本、クリ5本の植栽を計画しています。

初回のこの日は、0.2haにトドマツ400本、クリ5本



トドマツを植樹する親子

を植えました。寺西朝子室蘭地区委員長は「木の成長を見に遊びにこれるような場所にしたい」と話しました。

## 合同体験イベント開催 あそびフェスタin洞爺湖 縄文の日体験イベント

5月24日、こども体験の日合同イベントとして、あそびフェスタin洞爺湖（とうや湖レクリエーションクラブ主催）と洞爺湖町縄文の日体験イベントが、午前と午後に分かれて実施され、子どもたちは、ニュースポーツと火起こしなどの縄文体験を楽しみました。

午前中に母と子の館で開かれたあそびフェスタでは、小学生など約30人が参加。

低学年は、直径約3mの大きなサークルで行うオセロゲームや長縄跳びを行い、高学年では、スティックを倒さないように一人づつずれていくキャッチングスティックやムカデ競争などを体験しました。

そのほか年齢に合わせて、順番ゲーム、おりがみゲーム、スネークゲームなど6種類の遊びを楽しみました。

午後からは、会場を入江・高砂貝塚館に移動して、縄文の日体験イベントを開催。

ホタテ入りの縄文鍋で昼食をとった後、子どもたちは、自分の好みに合わせて、用意された火おこし、弓

矢、勾玉づくり、土偶づくり、アンギン編みの5つの体験コーナーを楽しく回りました。



キャッチングスティックで遊ぶ児童たち



勾玉づくりに取り組む児童たち



# まちのわだい